

研修名	生活指導部 防犯研修
日時	令和5年7月3日（月）
目的	本校の防犯上の課題を共有し、対策を講じる。
研修方法	東淀川警察署の方から防犯訓練の様子を総括やアドバイス等の講話
内容	防犯訓練の様子をスクリーンで見ながら、東淀川警察署に教職員の対応等をフィードバックをしていただいた。訓練の中で犯人と思われる人が現れた時間から警察に通報するまでに時間がかかりすぎているという課題があり、それについて学校の体制であったり門扉開閉員さんの動きを改めないといけないという内容であった。さすまたの使い方等をビデオや実演等で教えていただいた。
資料	都合により割愛

☆防犯研修について、何か気づいたこと、今後の活用方法や課題など

- ・実際の動画を見ながらの研修でとても良かった。
- ・警察官の方の話が分かりやすかったです。ありがとうございました。
- ・学校の実態に合ったシチュエーションで、それを振り返る内容だったので良かったと思います。
- ・110番通報について、間違いであってもすぐかけるべきであることや、通報が重複してもよいことなど、警察の方から直接聞いたことはとてもよかったです！
- ・インターホンや門扉越しに保護者証や用件がちゃんと確認できてから開門すべきである。
- ・不審者を侵入させてしまった落ち度で始まった訓練になったので、塀から登られたなどの侵入をされた想定で次回はできたらと思います。
- ・生徒がいる状態で行うのは実践的で良かったと思う。また、訓練としては侵入されないと訓練にならないので仕方ないと思うが、そもそも門扉開閉員さんの行動と何かあった際の教員への伝達方法に問題があると感じた。不審者役が不信感の少ないスーツ姿で、不審者と認識（認定）されるまで時間がかかったが、ある意味より現実的ではあったと感じたがそこを指摘されるのは少し悔しい。
- ・まずは、扉の外で対応し、中に入れないとありましたが、その旨を門扉開閉要員さんにもお伝えできれば良いなと思いました。
- ・高等部職員室にインターホンがあるが、出るべきか悩む。昼の時間帯に門扉開閉員さんが不在の事があり、こちらで対応せざるを得ないが考えものである。